

令和4年度 本牧原地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

コロナ禍で地域活動が停滞し、住民の気力体力の低下が危惧されている。引き続き地域に出むき、情報収集や共有に努め、住民間の繋がりや支えあいについて可視化していくと同時にそれぞれが抱える課題を共有し、課題解決に向けて5職種が連携し取り組みを行っていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	自主事業参加者には適宜連絡をし、参加者の状況把握に努め積極的に参加できるよう必要に応じて援助していく。住民主体の活動に繋がるよう働きかけ、新しい社会資源創出に努める。参加者の高齢化に伴う問題については、包括と連携を取りながら対応し、理解を得られるよう支援していく。また、障がいの分野においても事業を計画し、関わりを少しずつ増やしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	エンディングノート・終活について啓発事業を区や区内包括と共催で取り組む。地域向けリーフレットを活用し、より身近な成年後見制度の啓発に取り組む。広く多世代に向けて終活についての広報を行う終活フェアを開催する。地域で始まる移動サロンなどで特殊詐欺の啓発を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアプラザの役割を地域住民の方に更に理解していただき、相談しやすい環境を作っていく。窓口相談から地域ケア会議を開催し、各職種で課題の共有をしながら社会資源を作り上げていく。介護をしている人が孤立することなく、安心して地域に住み続けられるようにサロンを開催する。ケアマネジャーがインフォーマルサービスをプランに取り入れ、地域の方と連携が図れるよう、情報発信と啓発を続けていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	今ある地域の中の支えあい活動を把握し、その繋がりが途絶えないよう働きかける。またコロナ禍で停滞している活動については、新しい生活様式に合わせた形で、活動再開に向け支援していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	本牧原エリアではオーラルフレイルが課題となっていることから、地域の歯科と協力し啓発していく。また、昨年度養成した健康づくりサポーターさんが活躍できるように地域で体力測定を定期的に行っていくと共にサポーターさんの健康維持・増進にも務める。体力測定会だけでなく、フレイルについて学べるような機会をつくり、スキルについても自己流にならないように定期的に見直していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和4年度本牧原地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>(1)法人で定められている「苦情解決規則」に基づいて、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、利用される方からのご意見及びご要望、苦情などに対応するとともに再発防止に努めます。</p> <p>(2)法人では公正・中立の立場を重んじた、斡旋、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組みます。</p> <p>(3)館内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでも何かあればご意見等を受け付けるようにしています。</p> <p>(4)事業ごとにお客様アンケートをいただき、改善、発展につなげます。</p> <p>(5)包括支援センターにおいては、新規のケースを地域の居宅介護事業所の際、新規依頼表を作成し、公平になるよう努めています。</p>	<p>(1)介護サービス提供中などに事故に至らなくても気が付いた点について「ヒヤリハット報告書」に記録してミーティングや会議の場で報告し、原因の究明と対応を検討し職場内で注意喚起や徹底をするとともに介護技術向上の研修を通して、事故の未然防止に努めます。</p> <p>(2)所内会議等において、他の事業所などでの事故の事例や緊急対応マニュアルを確認するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理意識の向上に努めます。</p> <p>(3)毎月、衛生委員会でリスクマネジメントについての報告、検討をし、産業医からのアドバイスを受けています。</p> <p>(4)地域ケアプラザ内全職員に対し、年1回の「個人情報保護研修」と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めます。</p> <p>(5)法人のサービス向上課がまとめている法人全体の中の情報漏えいの事故があった際には職員会議、デスタッフ会議等で共有します。</p>
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>(1)介護予防プランが滞ることのない体制を維持します。また、ご本人が、自ら主体的に介護予防、健康維持に取り組めるよう、個別性のあるプランを作成し、要介護状態とならないように努めます。</p> <p>(2)地域ケアプラザ自主事業や、地域でのサロン、社会資源(インフォーマルなサービスも含む)も取り入れた計画を作成します。また、社会資源(インフォーマルサービスを含む)を計画に取り込めるようにケアマネジャーにも周知していきます。</p> <p>(3)介護予防プラン、介護予防ケアマネジメント委託先の居宅介護支援事業所をはじめ、関係事業所、地域との連携を密にしていき、包括ケアシステムの構築を念頭におきながら住み慣れた地域に生活し続けられるよう働きかけていきます。</p> <p>(4)横浜市訪問型短期予防サービスを積極的に利用し、介護保険に繋がりにくい方へも支援していきます。</p> <p>(5)生活支援コーディネーターや地域活動交流コーディネーターと連携し、集いの場など介護予防が行える拠点を創出していくと共にフレイルについて地域住民へ啓発していきます。</p> <p>(6)健康づくりサポーターさんの活動を支援すると共に、新たなメンバーも創出し地域住民が主体となって健康づくりができるように支援していく。</p>	<p>○自立支援、認知症支援、医療連携○</p> <p>(1)在宅生活されているご本人とご家族の意向を尊重して、ケアプランを作成します。</p> <p>(2)ご本人の生活歴を踏まえ、住み慣れた地域でその人らしい生活ができるように介護保険以外の町内の交流会や 地域ケアプラザにおける自主事業などを紹介していきます。</p> <p>(3)退院後も在宅生活が安心して送れるように家族、医療機関、地域包括支援センター、在宅サービス事業者などと連携を図り、随時プランの見直しをしていきます。</p> <p>(4)認知症になっても地域の見守りや理解により、在宅生活が継続できるように日頃から主治医、民生委員、近隣の方々と行いう情報交換、勉強会、研修会に参加して自己研鑽に努めるとともに地域とのネットワークづくりを推進します。</p> <p>(5)地域ケアプラザ内の居宅介護支援事業所であるメリットを活かして困りごとや課題を 地域の社会資源の発掘や活用役に役立てるため 生活支援コーディネーターに伝え 連携をとっていくよう努めます。</p> <p>(6)コロナ禍の中、感染防止対策を行いながら介護保険制度における制度の説明や具体的なサービスの利用等について、お客様への丁寧な説明を心掛けます。</p>
利用料金・実費負担		<p>常勤専従 3名 常勤兼務 1名 非常勤専従 1名</p>
職員体制		
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	<p>【通所介護】今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めます。プログラムがお客様の意欲の向上と身体機能の維持向上につながるよう取り組みます。三密を回避しながら季節の参加型イベント、行事食、曜日レクリエーション、個別ニーズに合わせた機能訓練を充実させます。</p> <p>【第一号通所事業】今年度は、個別機能訓練・運動器機能向上訓練やお客様の生活環境に即した訓練等、個別性の高いプログラムを充実させます。</p>	<p>【認知症対応型通所介護】今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、お客様の意欲の向上と身体機能の維持向上につながるよう、個別機能訓練を充実させます。認知症の進行をゆるやかにし、穏やかに日々がお過ごしになれるように、園芸レクリエーションや、みどりあふれる安心できる環境作りに努めます。</p>	
実施体制	<p>【実施日数】 週7日</p> <p>【提供時間】 9:30～16:35</p> <p>【定員】 〈通所介護・第一号通所介護〉34名</p>	<p>【実施日数】 週7日</p> <p>【提供時間】 9:30～16:35</p> <p>【定員】 〈認知症対応型通所介護〉12名</p>	

<p>利用料金・実費負担</p>	<p><通所介護> ● 負担割合 【1割負担】 (要介護1) 703円 (要介護2) 829円 (要介護3) 961円 (要介護4) 1,092円 (要介護5) 1,225円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 7円 ● 入浴加算(Ⅰ) 43円 ● 中重度者ケア体制加算 49円 ● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 60円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 22円 ● 科学的介護推進体制加算 43円 【2割負担】 (要介護1) 1,405円 (要介護2) 1,658円 (要介護3) 1,921円 (要介護4) 2,183円 (要介護5) 2,449円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 13円 ● 入浴加算(Ⅰ) 86円 ● 中重度者ケア体制加算 97円 ● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 120円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 43円 ● 科学的介護推進体制加算 86円</p>	<p><認知症対応型通所介護> ● 負担割合 【1割負担】 (要介護1) 1,080円 (要介護2) 1,197円 (要介護3) 1,315円 (要介護4) 1,432円 (要介護5) 1,550円 ● サービス提供体制強化加算Ⅱ 7円 ● 入浴加算(Ⅰ) 44円 ● 個別機能訓練(Ⅰ) 30円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 22円 ● 科学的介護推進体制加算 44円 【2割負担】 (要介護1) 2,159円 (要介護2) 2,394円 (要介護3) 2,629円 (要介護4) 2,864円 (要介護5) 3,099円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 13円 ● 入浴加算(Ⅰ) 87円 ● 個別機能訓練(Ⅰ) 59円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 44円 ● 科学的介護推進体制加算 87円</p>	
<p>利用料金・実費負担</p>	<p>【3割負担】 (要介護1) 2,107円 (要介護2) 2,486円 (要介護3) 2,882円 (要介護4) 3,274円 (要介護5) 3,673円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 20円 ● 入浴加算(Ⅰ) 129円 ● 中重度者ケア体制加算 145円 ※ 食費負担 750円 ● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 180円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 65円 ● 科学的介護推進体制加算 129円 ※ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)として利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金が加算されます。 ※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1000分の10に相当する単位数の料金が加算されます。</p>	<p>【3割負担】 (要介護1) 3,238円 (要介護2) 3,591円 (要介護3) 3,943円 (要介護4) 4,296円 (要介護5) 4,648円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 20円 ● 入浴加算(Ⅰ) 131円 ● 個別機能訓練(Ⅰ) 88円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 66円 ● 科学的介護推進体制加算 131円 ※ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)として利用単位数の1000分の104に相当する単位数の料金が加算されます。 ※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1000分の24に相当する単位数の料金が加算されます。</p>	
<p>利用料金・実費負担</p>	<p><第1号通所介護> ● 負担割合 (1割負担) 要支援1(週1回程度) 1,793円 要支援2(週1回程度) 1,793円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 26円 要支援2(週2回程度) 3,675円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 52円 ● 運動器機能向上加算 242円 ● 科学的介護推進体制加算 43円 (2割負担) 要支援1(週1回程度) 3,585円 要支援2(週1回程度) 3,585円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 52円 要支援2(週2回程度) 7,350円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 103円 ● 運動器機能向上加算 483円 ● 科学的介護推進体制加算 86円</p>		
<p>利用料金・実費負担</p>	<p>(3割負担) 要支援1(週1回程度) 5,377円 要支援2(週1回程度) 5,377円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 78円 要支援2(週2回程度) 11,025円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 155円 ● 運動器機能向上加算 724円 ● 科学的介護推進体制加算 129円 ※ 食費負担 750円 ※ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)として利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金が加算されます。 ※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1000分の10に相当する単位数の料金を相当する単位数を算定します。</p>		

職員体制	<p><通所介護> 管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ26名、運転手10名、看護職員兼機能訓練指導員7名、調理員6名</p> <p><第1号通所介護> 管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ26名、運転手10名 看護職員兼機能訓練指導員7名、調理員6名</p>	<p><認知症対応型通所介護> 管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ16名、運転手10名、看護職員兼機能訓練指導員7名、調理員6名</p>	
契約者数等	<p>【延べ利用者数】</p> <p>【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】</p> <p>【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】</p> <p>【契約者数】</p>

令和4年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	12,056,340		12,056,340		12,056,340	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	857,130		857,130		857,130	
雑入	106,140	0	106,140	0	106,140	
印刷代	65,020		65,020		65,020	
自動販売機手数料	21,120		21,120		21,120	
その他	20,000		20,000		20,000	
その他	5,412,000		5,412,000		5,412,000	
収入合計	18,431,610	0	18,431,610	0	18,431,610	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,191,340	0	12,191,340	0	12,191,340	
本俸	8,257,799		8,257,799		8,257,799	職員給与・非常勤職員給与・職員賞与
社会保険料	872,997		872,997		872,997	法定福利費支出
手当計	1,279,614		1,279,614		1,279,614	職員諸手当・職員通勤費・非常勤職員通勤費
健康診断費	70,474		70,474		70,474	職員健康診断・ストレスチェック
勤労者福祉共済掛金	7,500		7,500		7,500	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	166,874		166,874		166,874	
その他	1,536,082		1,536,082		1,536,082	
事務費	1,300,000	0	1,300,000	0	1,300,000	
旅費	3,500		3,500		3,500	旅費交通費
消耗品費	92,602		92,602		92,602	事務消耗品費
会議賄い費			0		0	
印刷製本費	84,691		84,691		84,691	インク及びパフォーマンスチャージ料
通信費	158,936		158,936		158,936	切手、はがき、宅急便、電話料金、ネットワーク回線費用等
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	0	21,120	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120		21,120	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	15,910		15,910		15,910	傷害賠償保険他
職員等研修費	1,965		1,965		1,965	研修研究費
振込手数料	14,750		14,750		14,750	振込手数料
リース料	269,774		269,774		269,774	玄関マット、会計用サーバ等、PCリース料他
手数料	37,455		37,455		37,455	EBサービス手数料等
地域協力費			0		0	
その他	599,297		599,297		599,297	
事業費	2,200,000	0	2,200,000	0	2,200,000	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	2,158,000		2,158,000		2,158,000	
その他			0		0	
管理費	6,715,000	0	6,715,000	0	6,715,000	
光熱水費	3,354,964		3,354,964		3,354,964	
清掃費	2,391,260		2,391,260		2,391,260	
機械警備費	218,253		218,253		218,253	機械警備費委託料
設備保全費	524,606	0	524,606	0	524,606	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	135,175		135,175		135,175	電気設備委託料
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	389,431		389,431		389,431	エレベーター保守・植栽管理
共益費	225,917		225,917		225,917	ゴミ処理費用
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	1,294	0	1,294	0	1,294	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	1,294		1,294		1,294	
その他			0		0	
その他	△ 4,450,024		△ 4,450,024		△ 4,450,024	
支出合計	18,431,610	0	18,431,610	0	18,431,610	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	857,130	0	857,130	0	857,130	
自主事業費 支出	2,158,000	0	2,158,000	0	2,158,000	
自主事業 収支	△ 1,300,870	0	△ 1,300,870	0	△ 1,300,870	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	22,885,540		22,885,540		22,885,540	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000		5,802,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	63,000		1,420,000		1,420,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	1,420,000		1,420,000		1,420,000	
収入合計	30,324,540	0	30,324,540	0	30,324,540	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,230,540	0	27,230,540	0	27,230,540	
本俸	18,814,239		18,814,239		18,814,239	職員給与・非常勤職員給与・職員賞与
社会保険料	3,386,654		3,386,654		3,386,654	法定福利費支出
手当計	3,590,513		3,590,513		3,590,513	職員諸手当・職員通勤費・非常勤職員通勤費
健康診断費	53,822		53,822		53,822	職員健康診断・ストレスチェック
勤労者福祉共済掛金	34,500		34,500		34,500	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	767,624		767,624		767,624	退職給与掛金
その他	583,188		583,188		583,188	
事務費	528,720	0	528,720	0	528,720	
旅費	18,000		18,000		18,000	旅費交通費
消耗品費	99,294		99,294		99,294	事務消耗品費
会議賄い費			0		0	
印刷製本費	56,460		56,460		56,460	インク及びパフォーマンスチャージ料
通信費	196,747		196,747		196,747	切手、はがき、宅急便、電話料金、ネットワーク回線費用等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	16,820		16,820		16,820	傷害賠償保険他
職員等研修費	2,125		2,125		2,125	研修研究費
振込手数料	9,750		9,750		9,750	振込手数料
リース料	98,769		98,769		98,769	玄関マット、会計用サーバ等、PCリース料他
手数料	30,755		30,755		30,755	EBサービス手数料等
地域協力費			0		0	
その他			0		0	
事業費	2,011,280	0	2,011,280	0	2,011,280	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	938,000		938,000		938,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	289,280		289,280		289,280	
その他			0		0	
管理費	1,785,000	0	1,785,000	0	1,785,000	
光熱水費	935,347		935,347		935,347	
清掃費	671,879		671,879		671,879	
機械警備費	31,434		31,434		31,434	機械警備費委託料
設備保全費	112,869	0	112,869	0	112,869	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	22,641		22,641		22,641	電気設備委託料
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	90,228		90,228		90,228	エレベーター保守・植栽管理
共益費	33,471		33,471		33,471	ゴミ処理費用
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	343	0	343	0	343	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	343		343		343	
その他			0		0	
その他	△ 1,357,343		△ 1,357,343		△ 1,357,343	
支出合計	30,324,540	0	30,324,540	0	30,324,540	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	63,000	0	63,000	0	63,000	
自主事業費 支出	1,381,280	0	1,381,280	0	1,381,280	
自主事業 収支	△ 1,318,280	0	△ 1,318,280	0	△ 1,318,280	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 本牧原地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	10,124			35,959		35,959	106,183		106,183	44,025		44,025	
	その他	0	0	0	1,582	0	1,582	1,352	0	1,352	0	0	0	
	事業・負担金収入			0			0	753		753			0	
	認定調査			0	175		175			0			0	
	原案作成委託料			0	1,407		1,407			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
	その他			0			0	599		599				0
	収入合計(A)	10,124	0	10,124	37,541	0	37,541	107,535	0	107,535	44,025	0	44,025	
	支出	人件費	2,037		2,037	29,291		29,291	85,624		85,624	35,439		35,439
事務費		48		48			0	5,905		5,905	2,149		2,149	
事業費		13		13	73		73	8,942		8,942	2,807		2,807	
管理費				0	2,201		2,201	6,936		6,936	1,925		1,925	
その他		6,444		6,444	0	0	0	524	0	524	0	0	0	
利用者負担軽減額				0			0			0			0	
消費税				0			0			0			0	
介護予防プラン委託料		6,444		6,444			0			0			0	
				0			0			0			0	
その他				0			0	524		524			0	
支出合計(B)	8,542	0	8,542	31,565	0	31,565	107,931	0	107,931	42,319	0	42,319		
収支 (A) - (B)	1,582	0	1,582	5,977	0	5,977	-396	0	-396	1,705	0	1,705		

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ふれあいサロン潮風	平成15年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	閉じこもり防止と仲間作りの支援。要援護者の発掘。事業運営や体操の担い手ボランティアの育成。	1:高齢者		5 地域の高齢者を対象にした仲間づくりのサロン。毎月第1木曜日13時～に実施。歌と脳トレを取り入れた音楽レクリエーションを中心に毎月ボランティアの協力でプログラムを提供する。		
2	ペタンクルー	平成16年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	継続的に事業を行うことで、転倒骨折を予防する。仲間づくりを支援する。	1:高齢者	2, 5	第1, 3月曜日13時30分体操とグループに分かれペタンクゲームを楽しむ		
3	シルバー健康体操	平成12年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで、仲間づくりの場を提供する。体操についていけなくなった方を包括と連携し、フォローする。	1:高齢者	5	65歳以上の高齢者を対象としたリズム体操教室。毎月第1.3金曜日9:30～、10:30～に実施。		
4	健脳体操1, 2	平成16年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで、仲間づくりの場を提供する。	5:地域	1	年齢問わずどなたでも参加できる体操教室。脳に刺激を与えながら日常生活に必要な筋力を鍛える。YMCAに講師を依頼。毎月第2.4木曜日13:00～、14:15～に実施。自主グループは第3木曜日に活動中。		
5	シニアリトミック	平成29年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで、仲間づくりの場を提供する。体、頭、心を同時に使って音楽のゲームを楽しむことで脳の活性化を図る。	5:地域	1	毎月第4月曜日13:30に実施。講師によるリトミック講座。		

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
6	脳イキイキ教室	平成18年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	定期的な事業参加のための外出や読み書き計算により認知症の予防をはかる。歓談コーナーを設け、仲間づくりを支援する。教室の卒業生はイキイキサロンへお誘いする。	5:地域	1	くもん教材を使用、毎週木曜日10時～、10時40分～ 2クラス実施 各40分		
8	男の料理教室	平成20年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	男性の家事の自立支援と健康意識の向上をはかる。配食ボランティアの育成。	5:地域		和洋中の各種メニューをとりまぜ、様々な料理に挑戦する。毎月、第2日曜日に実施。参加者がグループに分かれて調理を行い、完成した料理を講師を含めて会食する。毎回、講師と参加者で次回、挑戦するレシピを考える。		
9	子育てサロン	平成15年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て中の親子がリフレッシュするとともに、育児の情報交換や仲間づくりの場を提供する。育児不安解消	3:養育者及び乳幼児	2, 5	子育て中の親子が集うサロン。毎月第3火曜日に実施。基本的に自由遊びだが、年に数回地域のボランティアによる読み聞かせを実施。地域の民生委員・児童委員や主任児童委員、保健活動推進員協力で実施。		
10	SONGS	令和3年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	高齢者の出かける機会とする。オーラルケア仲間づくり	5:地域		毎月第4金曜日13時～アコーディオン演奏に合わせて昔懐かしい歌をうたう		
11	健康麻雀講座	令和4年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	女性が気兼ねなく参加参加でき、脳を活性化。ゆっくり楽しみながら覚えることで仲間づくりを目指す。	5:地域		毎週火曜日 30回 健康麻雀のテキストを使用し、講師は健康麻雀協会認定		

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
12	ぶらりHONMOKU	令和3年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地元にある施設を知りその利用方法や活動内容を理解する。地元で楽しむことを発見して地元へ愛着を持つ。運動不足解消、健康づくりの一助とする。	5:地域		令和3年5月10日(月)~7月6日(月)実施。本牧地区センター、大鳥コミュニティハウスと企画共催。スタンプラリーポイント協力は15施設。		
14	ハローウィン	令和3年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子育て世代や、子どもたちに地域の施設を知ってもらう。地域施設と連携を図り互いの強みを生かす。	4:子ども・青少年	2, 3	10月末日		
15	文化祭	令和3年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	サークル団体の活動の発表の場とする。活動のモチベーション向上。他の団体の活動をする。団体間の交流の機会とする。	5:地域	6	11月下旬1週間		
16	3館合同作品展	令和2年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	各施設で活動する団体の発表の場とする。活動のモチベーション向上。地域の方に各施設で活動する団体を知っていただき、各施設を広く知っていただく。	5:地域		1月中旬から2月初旬、イオン本牧店3階催事条にて展示		
17	認知症講座	令和3年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の症状を理解し、その対応の仕方を学び 認知症の方が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう あたたかい見守りができる地域を目指します	5:地域	6, 7			
18	はらっば うたごえ CLUB	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	新型コロナ感染拡大により交流する機会が縮小されている中、「3つの密」を避けながら自宅でも個人でも可能な歌を歌うことで、ストレス発散と健康維持に取り組むことを目的とする。	1:高齢者	5	地域のFM放送局を活用し、歌番組を流す。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
19	HOMMOKUBASE げんきCLUB	令和元年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	利便性のよいところに新たな集いの場を設置。介護保険サービス適用外の高齢者の受け皿となる活動のひとつとする。	1：高齢者		座位で行う介護予防体操。 毎月第4火曜日13:00～14:00開催。		
20	終活講座	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	お元気な今のうちから考える終活。先の事を考えてご自身の人生を豊かに過ごしていただくため、今から出来る事を啓発していく。	1：高齢者		中区で作成したエンディングノートの書き方DVDの上映会と、終活相談会を同時に開催する。		
21	フレイル予防セミナー	平成25年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	椅子に座ってストレッチや筋トレ、コグニサイズを行うことで外出の機会を提供するとともに、オーラルフレイルや栄養講座を行い、フレイルについて総合的に学ぶ。	1：高齢者		椅子に座ってストレッチ+筋トレ+コグニサイズを実施し体力維持に務める。オーラルフレイルやバランスの良い食事について学習する。 毎月第2月曜日14:00～開催	5	
22	健康づくりサポーター支援	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	昨年度養成したサポーターの方々をより健康づくりサポーターとして活動していくために体力測定のみならずフレイルについてももう少し深く学んでいただき、地域に還元できることを目的とする。	5：地域		地域で体力測定会を開催する。フレイルについても学び、なぜ体力測定をして継続的にフォローしていかないといけないのかを学ぶ。 毎月第2水曜日13:30～	1	
23	健康づくりサポーター養成講座	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	健康づくりサポーターという地域の健康づくりを担うボランティアを育成すると共に彼ら自身の健康増進を目的とする。	5：地域		区で養成したボランティアを地域デビューさせるために本牧原版養成講座を別途実施。測定会に向けスキルアップを図る。 9月～10月の間に3回実施する。	1	
24	ベルストーン本牧サロン	令和4年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	新本牧エリアでは高齢化率は低いにも関わらず要介護3～5の割合が高いというデータがあり、地域との繋がりを取るようにまずは高齢者住宅から介入していく。	5：地域		サロンでは主に介護予防、終活、認知症、防災、詐欺など総合的に会を開催するように予定する。	1	

■ 事業 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3) 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)	■ 事業の性質 1 : 優先的に取り組みが求められる事業 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者 7 : その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
25	ユニ・チャームさわやか講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ユニ・チャームより尿漏れ予防とセルフケアについてレクチャーしてもらうと共に、製品の正しい使い方についても助言してもらう。	5:地域	1	5/31(火)第1部10:00~11:30 第2部13:30~15:00		
26	コロナに負けない身体をつくろう ~いきいき!ロングライフのために~	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	より地域に向けてフレイルを啓発していくために4回講座(フレイル、ウォーキング、栄養、口腔)に分けて実施していく。	5:地域	1	高齢化率が高い第4南部にて実施。各専門職を呼び講座を開催する。		
27	介護者の集い 「グリーンリーフ」	平成20年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	要介護者とその介護者が、お互いに意見交換をする。介護に役立つ勉強会を実施。	5:地域	1, 6	介護者の集いを毎月開催。 第2金曜日13:00~15:00 (隔月で講習会を開催)		